

<<<今号の目次>>>

1. コラム

「テレワークでそれぞれのライフとワークを充実」

2. 最新情報

《地方公共団体等の動き》 11件

■□■ 1. コラム



「テレワークでそれぞれのライフとワークを充実」

一般社団法人日本テレワーク協会 事務局長 村田 瑞枝

コロナ禍による1回目の緊急事態宣言発令から、約1年が過ぎました。混雑する電車や、職場での感染拡大を避けるために多くの方々が一度に在宅勤務を余儀なくされ、あまりにも緊急だったために会社のネットワークに繋がらない、準備不足で在宅待機のようになってしまったというお話も。日本テレワーク協会には、テレワークを始めるためのお問い合わせが多数寄せられました。

暑くなってきたころ、自宅でのテレワーク、電気代は会社が出すの？従業員負担でよいの？といったお問い合わせが増えました。また、就業規則が後回しになっていたので整理したいといったものも。費用負担はどちらがしなければならないということが決まっているものではないですが、従業員が負担する場合には、就業規則に定めておく必要があります。

そして今、通勤手当を廃止しテレワークのための手当てに変更したり、オフィススペースを削減したり、「働き方改革」をトリガーに企業の経営革新に繋がったケースが出てきました。また、居住地を定めず、日本国内ならどこでも勤務OK、出社する場合は交通費を実費で支給する企業も。「場所や時間に捉われない働き方」がまさに実践されてきています。

テレワークは働き方の一つです。個人が最も働きやすい場所で、効率の上がる時間帯に働くことができれば、企業の生産性は自然と上がるはず。社会にとっても、労働力人口減少の緩和や地域の活性化、環境負荷の軽減にも繋がります。コミュニケーションが取りにくい、仕事とプライベートの境目が無くなってきた、といった課題も出ていますが、それらの課題はこれまでの働き方の延長線上にテレワークがあることに由来しており、ミーティングで雑談タイムを設定したり、1on1と言われる面談を行うことで克服してきている事例も見ら

れます。

同僚や上司と離れた場所で働くテレワークでは、テレワークを行う従業員自身に、自律性・主体性が求められます。自分自身が最も働きやすい場所と時間に、得意とする業務に集中して取り組むことで、ライフとワークのバランスを図り、御自身の生き方改革に繋げることで、それぞれの幸せな働き方を見つけていただきたいと思います。

■□■ 2. 最新情報



《地方公共団体の動き》

【北海道】札幌市

札幌市男女共同参画オリジナルムービー

Be TEAM、More SMILE！～家族はこれから、チームになる。～

→札幌市男女共同参画オリジナルムービーを公開しています。新型コロナウイルスの影響で、在宅時間の増加や働き方が見直されるなど生活環境が変化している今こそ、家族がチームとなって家事や育児を助け合い、家族みんなが暮らしやすく働きやすい生活を目指しませんか。ヒント満載のオリジナルムービーをぜひチェックしてみてください。

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/josei/douga.html>

【群馬県】

群馬県テレワーク実態調査結果について

→群馬県では、県内事業所のテレワークの導入状況や課題に関する調査を実施しました。

本調査は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大が懸念され、テレワーク導入の重要性が高まっている状況を踏まえ、県内事業所のテレワークの導入状況やテレワーク導入に向けた課題を把握し、県内事業所のテレワーク導入を推進するための基礎資料を得ることを目的にしています。

主な調査結果としては、以下のとおり。

- ・県内事業所のテレワーク導入率は11.3%
- ・テレワーク導入による効果は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止（85.2%）のほか、勤務者の移動時間の短縮・混雑の回避（38.3%）、勤務者のワーク・ライフ・バランスの向上（26.1%）。
- ・テレワーク導入にあたり苦労したことは、社内規程等のルール整備の検討（35.7%）が最も多い。また、導入して感じた課題は、社内のコミュニケーションに支障がある（40.5%）が最も多い。

https://www.pref.gunma.jp/06/g22g_00204.html

【神奈川県】藤沢市

テレワークの導入に対する補助金を交付します

→新型コロナウイルス感染症に関する対策のため、在宅勤務等のテレワークの導入を検討している市内中小企業者に対し、その環境整備に係る経費への補助金を交付します。(申込期間：2021年3月30日(火)～5月16日(日))

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/indus1/shigoto/kigyosien/telework.html>

【神奈川県】川崎市

令和2年度「かわさき☆えるぼし」認証企業を決定し、事例集を発行しました！

→川崎市では、女性の活躍推進、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる中小企業を認証する「かわさき☆えるぼし」認証制度を平成30年度に創設しました。3回目の募集となる令和2年度は、平成30年度に認証した企業の更新22社のほか、新たに18社を「かわさき☆えるぼし」認証企業として決定いたしました。令和元年度に認証した企業と合わせて59社が「かわさき☆えるぼし」認証企業となり、市内中小企業における女性活躍推進の取組が広まりつつあります。

<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000123762.html>

【新潟県】糸魚川市

ワーク・ライフ・バランス推進宣言事業所 募集中

→糸魚川市では、仕事と生活の調和を図った働き方・生き方である「ワーク・ライフ・バランス」社会の推進に向け、ワーク・ライフ・バランス推進宣言事業所を募集しています。自治体と企業が一体となり、是非この機会に実現したい働き方・生き方を考えてみませんか？(募集期間：随時)

<https://www.city.itoigawa.lg.jp/7677.htm>

【福井県】福井市

組織診断クラウド Fukurea (フクリエ)

→女性活躍やワーク・ライフ・バランスの、より一層の推進を図ることを目的とした福井市独自の企業に対する組織診断システム「Fukurea (フクリエ)」を制作しました。このシステムは、組織の制度や運用に関する診断、社員の意識や意欲に関する診断ができ、組織の状況を可視化できるものとなっています。

<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/jinken/danjyo/fukurea.html>

【愛知県】

「あいちワーク・ライフ・バランス行動計画2021-2025」を策定しました

→愛知県と労使団体等で構成する「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」では、働き方改革関連法の趣旨を踏まえつつ、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指すため、「あいちワーク・ライフ・バランス行動計画2021-2025 ～多様で柔軟な働き方によるやりがいと幸せを実感できる持続可能な社会の実現～」を策定しました。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rodofukushi/wlbactionplan2021-2025.html>

【兵庫県】姫路市

男性向け育児啓発冊子『パパの教科書』（父子手帳）

→育児に関わりたくても何をすればよいのか分かりにくいという男性の声に応え、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進と、男性の育児への積極的な参加の促進を目的に、男性向けの育児啓発冊子を作成しました。

<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000006843.html>

【鳥取県】鳥取市

輝なんせ鳥取講座 「ワーク・ライフ・バランス講座」暮らしを整える！！毎日が HAPPY になる新習慣 ～笑顔が続く 7 つのヒミツ～

→イクメンもケアメンも家族みんなが毎日楽しくなる新習慣の提案、アドバイスをもらい、毎日が HAPPY になれるワーク・ライフ・バランスを学ぶ。

- ・日時：2021年5月12日（水）13:30～15:00
- ・会場：男女共同参画センター研修室（鳥取市今町2丁目151 鳥取大丸5階）
- ・講師：来田裕子氏（鳥取県男女共同参画登録講師）
- ・受講料：無料
- ・対象：市内または近隣町に在住・通勤通学する方
- ・定員：24名（先着順・要申込）
- ・受付締切：2021年5月11日（火）12:00

<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1616740386376/index.html>

【佐賀県】

令和2年度 ワーク・ライフ・バランス推進！キャンペーン実施報告

→佐賀県では、ワーク・ライフ・バランス推進の一環として、2020年9月1日（火）から11月30日（月）の期間で、年次有給休暇取得促進やノー残業デーなどの労働時間短縮に取り組むことを宣言して実践していただく『ワーク・ライフ・バランス推進！キャンペーン』を実施しました。今年度は、民間事業所 89 事業所、10,324 名の方に参加していただきました。このたび、参加いただいた事業所を対象にアンケート（回答数 89 社/78 社）を実施し、結果を取りまとめました。各事業所におかれましては、今後のワーク・ライフ・バランスの推進の一助としていただければ幸いです。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00377797/index.html>

【鹿児島県】

令和2年度鹿児島県労働条件実態調査の結果

→常用労働者 5 人以上の県内民営事業所から、規模別・産業別に無作為抽出した 1,000 事業所に対し、労働時間、週休、休日制度、ワーク・ライフ・バランス等の調査項目について、郵送により、アンケート調査を行いました。鹿児島県内の企業に雇用される常用労働者の労働条件に関する諸制度等について総合的に調査し、これらの現状を明らかにすることで、労働行政の資料を得ること、また、労使関係者等に資料として提供し、労使関係の近代化と安定促進に寄与することを目的としています。

<http://www.pref.kagoshima.jp/af04/tokei/bunya/chingin/roudoujijyou/r2jittaichousa.htm>
1

【編集後記】

新年度が始まりました。コロナ禍でオンライン入社式とされる企業も多いのではないのでしょうか。株式会社リクルートキャリアの研究機関・就職みらい研究所が全国の新卒採用に参与している人事部門担当者を対象に実施した「2021年入社予定者に関する調査」によると、入社式は約半数の企業がWebを利用するほか、新入社員でもテレワークを経験させると回答した人事担当者が約5割といった結果が得られています。新しい生活様式の浸透の中で、新入社員にもテレワーク等の新しい働き方が求められており、社会人生活を円滑にスタートしてもらうためにも、組織一体となってサポートしてきたいものです。

※2021年入社予定者に関する調査（株式会社リクルートキャリア／2021年3月）
https://shushokumirai.recruit.co.jp/study_report_article/research20210331001/

このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/WLB/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/WLB/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/WLB/>